

3 主な業務内容 Contents of Main Activities

1 展示 Exhibition

●常設展示(1F)

板橋区の歴史について紹介します。敷地内には、江戸後期に建てられた古民家(旧田中家住宅)や、板橋宿で栄えた貸座敷「新藤楼」の玄関が移築されています。



常設展示の様子

●企画展示(2F)

年に複数回おこないます(特別展、収藏品展など)。

●コレクション展示(1F)

常設展示室の一角で、当館収蔵のコレクション資料を紹介します。



古民家(旧田中家住宅)

●ミニ企画展示(1F)

常設展示室の一角で、季節やイベントに合わせた展示をおこないます。2F企画展示と連携する場合があります。



板橋宿貸座敷「新藤楼」の玄関

2 講演会・シンポジウム

Lectures/Symposiums

企画展示の開催中に、展示テーマに沿った内容の講演会やシンポジウムなどをおこないます。

3 博物館講座・体験学習・年中行事

Lessons on this museum / Hands-on learning / Annual events

古文書講座や勾玉づくり体験などを実施します。古民家では年中行事の飾りが楽しめます(桃の節供・端午の節供・タナバタ祭り・お月見・マユダマ飾りなど)。



桃の節供(ヒナまつり)

4 武者行列事業

Samurai's procession activity

区内のまつり(農業まつり、梅まつりなど)で武者行列をおこないます。地域の子どもたちが鎧や着物姿で練り歩きます。※協力:いたばし武者行列保存会
毎年5月5日(こどもの日)には、鎧の着付け体験を当館中庭でおこないます。古民家を背景に記念撮影ができます。



武者行列(農業まつり)

5 レファレンスサービス Reference service

板橋区の歴史や文化についての問い合わせを随時受け付けます。また、夏休み期間中は自由研究相談対応もおこないます。

4 利用案内 Usage Guidance

開館時間 9時30分～17時00分(入館は16時30分まで)
9:30 a.m. - 5:00 p.m. (permitted to enter until 4:30 p.m.)

休館日 月曜日(ただし、月曜が祝日の場合は開館し、翌日休館)
年末年始 ※展示の入替えや設備点検等で休館する場合があります
Closed on Monday (in the case of any national holiday on Monday, opened on Monday and closed on the following day) and New Year's Holidays.
※It may be closed due to change of display, any equipment inspection, etc.

入館料 無料 Free of charge

交通案内 ※駐車場はございません。

●徒歩

- ①都営三田線「西高島平駅」下車 徒歩13分
- ②東武東上線「成増駅」下車・東京メトロ「地下鉄成増駅」下車 徒歩23分

●タクシー利用

都営三田線「高島平駅」西口または東武東上線「成増駅」北口から 約5分

●バス利用

- ①都営三田線「高島平駅」下車 西口2番バス乗場から国際興業バス(区立美術館経由成増駅北口行)にて区立美術館下車 徒歩2分
 - ②東武東上線「成増駅」・東京メトロ「地下鉄成増駅」下車 北口2番バス乗場から国際興業バス(区立美術館経由高島平操車場行)にて区立美術館下車 徒歩2分
- ※美術館を経由しないバス(系統)もあるので乗車前に確認してください



板橋区立郷土資料館

〒175-0092 東京都板橋区赤塚五丁目35番25号
TEL.03-5998-0081 FAX.03-5998-0083

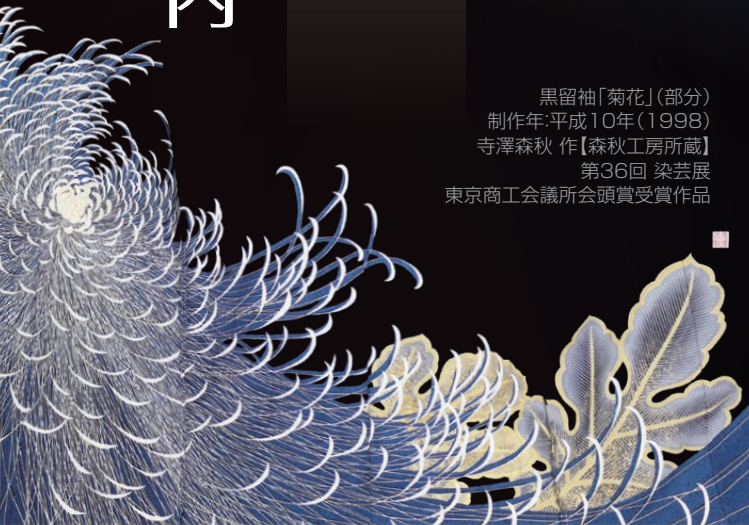
E-MAIL kyoudo@city.itabashi.tokyo.jp
ホームページ https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyodoshiyokan/



令和6年度 展示案内

郷土資料館 板橋区立

黒留袖「菊花」(部分)
制作年:平成10年(1998)
寺澤森秋 作[森秋工房所蔵]
第36回 染芸展
東京商工会議所会頭賞受賞作品



ITABASHI HISTORICAL MUSEUM
Information about Exhibition In April, 2024 – March, 2025

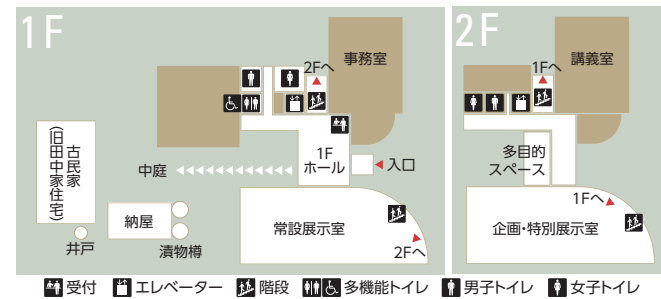
1 館紹介 Introduction of Museum

板橋区立郷土資料館は、昭和47年(1972)開館の文化施設です。赤塚城址および赤塚溜池公園に隣接しています。当館では、板橋区の歴史や文化に関わる資料を保存調査しています。また、展示や教育普及事業を通し、地域文化振興を図っています。



郷土資料館外観

Itabashi Historical Museum, next to Akatsuka Castle Ruins (Akatsuka-Jyoshi) and Akatsuka Pond Park (Akatsuka-Tameike-Koen), was established in 1972. This museum preserves/investigates some materials regarding history/culture of Itabashi City, and tries to promote the regional culture through display and educational promotion activities.



2 主な収蔵資料 Main Collection Materials

板橋区に関するコト・モノの資料を収蔵しています。

●中山道板橋宿

Nakasendo Itabashi-shuku
木曾街道板橋宿の驛



●江戸・明治期などの古文書

Ancient documents mainly during the Edo period/Meiji period
ひらおぼたごまめん 平尾旅籠図面



●幕末の砲術家・高島秋帆と西洋流砲術

TAKASHIMA Shuhan (an artist in the late Edo period) and western-style artillery
高島四郎大夫 砲術稽古美見分之図



●民具(農機具など)

Articles for everyday use (agricultural implements, etc.)
本小札 黒糸威丸銅具足(伝・板倉家甲冑)



●戦時中の生活や学童疎開

Life during the war and evacuation by school children
竹かぶとと拍子木



●甲冑刀剣類

Armor/Swords, etc.
本小札 黒糸威丸銅具足(伝・板倉家甲冑)



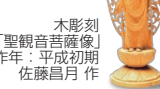
●煎茶道

Sencha-do (Japanese green tea ceremony)
豊田家煎茶道具一式



●伝統工芸

Traditional crafts
木彫刻「聖観音菩薩像」制作年:平成初期 佐藤昌月 作



●人類学者・石田収蔵の北方民族調査

Survey on northern people by ISHIDA Shuzo (an anthropologist)
ミミズク形木偶



板橋区史跡公園(仮称)整備準備展覧会シリーズVer.3

2024年4月20日(土)～6月23日(日)
April 20 (Sat.) – June 23 (Sun.)

“工都”キャラバン 科学研究
～コズミック! 線つむぐ理研板橋分所～

本展は史跡公園整備事業と調査研究の成果を紹介する「板橋区史跡公園(仮称)整備準備展覧会シリーズ」の一環で、「キャラバン」と題して区内各施設を巡回するパネル展です。
令和3年度(2021)から連続シリーズで開催してきた「工都」展の最終回として、「科学研究」をテーマに取り上げ、理化学研究所板橋分所に関する展示を行います。

理研板橋分所は、昭和21年(1946)に板橋火薬製造所の跡地(現在の史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」指定地)の一画へ入居し、「廃墟」同然の建物の中で宇宙線の連続観測を開始しました。その後、国際的な観測プロジェクトの中心的機関になり、宇宙線研究の世界的な拠点となりました。

本展は「研究者たちの活動」に注目し、その全貌を「線」をコンセプトに読み解きます。

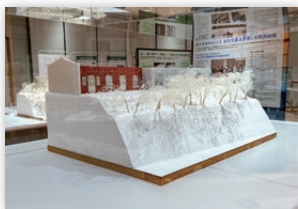
本展はパネル展ですが、日本大学生産工学部中澤研究室との共同研究で完全再現した板橋分所の模型や、国立極地研究所などが所蔵する映像資料も展示します。



板橋分所での宇宙線観測
【理化学研究所記念史料室所蔵】



理化学研究所板橋分所宇宙線研究室
【理化学研究所記念史料室所蔵】



1949年の理研板橋分所
【模型、日大中澤研究室制作】

紅梅小学校創立150周年記念展

2024年7月13日(土)～9月16日(月・祝)
July 13 (Sat.) – September 16 (Mon-holiday)

そのかぐわしき名をあげよ
～徳丸村の学び舎から～

区内最古の小学校のひとつである紅梅小学校は、明治7年(1874)8月25日に安楽寺(徳丸八丁目9番1号)内に設立され、今年で150周年を迎えます。学校の設立以前から、地域には有志による寺子屋があり、それらを統合する形で開校されました。明治22年(1889)には、村民の寄付によって現在地に校舎が建築され、大正11年(1922)には個人の寄付によって廃校の危機を脱しました。寺子屋の師匠から紅梅小学校の教員となった人物もあり、まさに村が創り村が支えてきた学校であるといえるでしょう。

今回は、区登録有形文化財である紅梅小学校校史資料をはじめ、地域で大切に守られてきた資料を展示し、村とともに歩んできた紅梅小学校の歴史を振り返ります。



寺子屋の様子
【学校沿革図会】【紅梅小学校所蔵】



明治22年建築の校舎
【学校沿革図会】【紅梅小学校所蔵】

第21回板橋区伝統工芸展

2024年10月5日(土)～12月8日(日)
October 5 (Sat.) – December 8 (Sun.)

江戸手描友禅 寺澤森秋
～時代を彩る染と技～

江戸手描友禅の職人である寺澤森秋氏のあゆみを紹介するとともに、着物や帯などの作品を展示します。手描友禅とは、糊防染(糸目糊)と色挿しを併用して、模様を華やかに表現する技法です。

寺澤氏は、昭和21年(1946)に長野県長野市に生まれました。昭和39年(1964)に上京し、日本橋の「中央染芸」で修行を積みました。昭和47年(1972)に独立し、板橋区弥生町に「弥生染芸」を設立しました。平成29年(2017)に「東京都優秀技能者(東京マイスター)」、令和元年(2019)に「卓越した技能者(現代の名工)」など、数多くの賞を受賞。令和4年(2022)には「黄綬褒章」を受章しました。

寺澤氏は技を磨き続け、常に新たな表現方法を模索して作品制作に取り組まれています。作品を通して、寺澤氏の卓越した技と、江戸手描友禅の魅力を感じていただければ幸いです。



寺澤森秋氏



訪問着「竹林」(部分)
制作年:昭和61年(1986)
寺澤森秋 作【森秋工房所蔵】
第25回 染芸展
染芸展大賞/中小企業庁長官賞受賞作品



振袖「王朝のいざよひ」(部分)
制作年:平成2年(1990)
寺澤森秋 作【森秋工房所蔵】
第28回 染芸展
染芸展大賞受賞作品

特別展

2025年1月18日(土)～3月16日(日)
January 18 (Sat.) – March 16 (Sun.)

樺太紀行
～徳丸の人類学者と樺太の北方諸民族～

石田収蔵は、東京帝国大学の人類学教室を主宰していた鳥居龍蔵の次席に当たる人類学者でした。大正9年には、現在の東武東上線東武練馬駅周辺に居を構え、板橋徳丸の地から様々な地を調査しました。明治～昭和初期にかけて、石田は樺太の北方諸民族のうち、樺太アイヌ・ウィルタ・ニブフの民族調査に出かけたことが葉書や写真から判明しています。また、石田が現地でも書き綴ったとされるメモ類やノートは、当時の北方諸民族の人々の聞き取りや風俗を知ることができる貴重な記録となっています。

今回の展示では、徳丸の人類学者である石田収蔵と調査した樺太の北方諸民族について紹介します。本展覧会を機に、石田収蔵のことを知っていただくだけでなく、異文化を学び尊重するきっかけを築くことができれば幸いです。



人物形木偶



ミミズク形木偶



石田収蔵
明治43年(1910)ごろ



木製長方鉢

コレクション展

1階

2023年12月19日(火)～2024年4月21日(日)
いたばしの文人たち

4月23日(火)～7月28日(日)
砲術資料から読み解く高島秋帆の弟子たち

7月30日(火)～10月14日(月・祝)
板橋第一小学校創立150周年記念
～板橋の地に健児あり～

10月16日(水)～2025年1月26日(日)
板橋区伝統工芸保存会創立20周年記念
～伝統をつなぐ板橋の職人～

1月28日(火)～4月27日(日)
速報展 蓮沼家資料
～いたばしの暮らしの変化～

ミニ企画展

1階

2024年4月2日(火)～6月30日(日)
人の一生Ⅰ 結婚 ～門出を祝う～

7月2日(火)～9月29日(日)
人の一生Ⅱ 葬式 ～死者を弔う～

10月1日(火)～12月28日(土)
人の一生Ⅲ 誕生と成長 ～子への思い～

2025年1月4日(土)～3月30日(日)
人の一生Ⅳ 年を重ねる ～新年を寿ぐ～

年中行事

古民家付近

2024年4月6日(土)～5月6日(月・祝)
端午の節供

6月29日(土)～7月7日(日)
タナバタ祭り

9月14日(土)～9月23日(月・祝)
お月見

2025年1月11日(土)～1月19日(日)
マユダマ飾り

2月15日(土)～3月30日(日)
桃の節供(ヒナマツリ)